

熊本市におけるテレビCMの実態調査

— 数量分析(3) —

土 井 文 博

要 約

本稿は、熊本市における民間テレビ局のテレビCMに関して行った数量分析の第3弾として、CM 枠数および各CM 枠の秒数に関するデータをまとめたものである。調査期間の4週間におけるCM 枠数は3,504枠にのぼるが、最も多いのは90秒枠で、また、最もCM 時間が長いものは8分間に及んだ。曜日や時間帯や放送局などによってCM 枠の傾向もいくらか異なるが、CM 枠のある程度のパターンを捉えるため、1日18時間分のCM 枠に関するパターンを1時間ごとに描き出す工夫も試みた。その結果見えてきたのは、テレビ視聴時間におけるCM 枠の時間が長いこととCM 枠が登場するその頻度が多いことであった。

1 はじめに

先に行ったCMの本数、秒数にもとづく数量分析に引き続き、今回は我々が日常目にするテレビCMの状態に則る意味で、各CMごとではなく、CMが連続する部分をひとくくりにした「CM枠」という概念にもづいて数量分析を試みる⁽¹⁾。前回までの分析で、CMの本数・秒数の数量的な傾向を出すことはできたが、それらはCMの中だけでの特徴であって、テレビで流される情報のCMに関する部分のみを言わば切り取った分析にすぎない。しかし通常我々がテレビを見る際には、テレビ番組の方を視聴し、その合間にCMが入ってくるという形でテレビCMに接している。こういった実態を考えると、CMだけかき集めて分析しても、そこには番組というテレビのCM以外

の時間とCMの時間との関係が欠如してしまっている。そこで今回は、CM枠がどのような形で存在するかを示すことで、実際の時間の流れの中に、CMの数量的な特性を位置づける分析を試みたい。

2 調査概要および新しい変数の説明

調査概要については前回同様、用いるデータは1998年5月11日(月)から6月7日(日)まで1日18時間(6時より24時まで)に流された熊本市の民放4局の全CM(各局1週間ずつ)である。

今回新たに考察に加えた変数としては、「CM枠番号」、「CM枠秒計」、「CM枠開始分」がある。

「CM枠番号」は、CMがとぎれたと判断できるところのCMまで同じ番号を記した。その際、実際にはほんの数秒であっても、番組の始まりや終わりを示す映像その他によって、CMがいったん中断したと判断できる場合には、CM枠をそこまでとしている。したがって、時間的にはほとんど連続しているような場合でも、別の枠番号が記されているケースも存在する。番組の提供会社名を知らせる字幕スーパーが番組の映像を背景として流されている場合には、番組内と判断しているためCM枠に及ぼす影響はない。しかし、それが番組を背景としない単なるテロップ(多くが5秒程度)であるものは、CMとしてカウントしていないため厳密にはそこでCMが途切れることになるが、それがCMとCMの間に挟まる場合、CMの連続感を妨げるものではないと判断できるため、そこでCM枠を分割することは避けた。

「CM枠秒計」は、その枠内の各CMの秒数を合計したもので、CM枠の長さを表す。

「CM枠開始分」は、CM枠の始まりを1分単位で示したもので、何分台からそのCM枠がスタートしたかを表している。

なお、クロス表に出てくるパーセンテージの表記は、すべて横計(行の変数ごとの合計値)を100とした場合の各セルの比率を表している。また、すべての表において、小数点第1位まで示されているパーセンテージの値は小数

点第2位を四捨五入したものであるため、個々の値の合計が100ちょうどになるとは限らない。

表7B, 表8B, 表9B, 表15, 表16に出てくる「全体の合計値」とは、60秒・90秒・120秒を含む全CM枠の合計値を意味する。これらの表は分析の都合上、上記3つの秒数のCM枠についてのみ、クロス集計表より抜き出した形で表しているが、CM枠全体との対比も必要なことから全体の合計もこのような形で残した。したがって、これら「全体の合計値」という欄の値は、60秒・90秒・120秒に関してのみの合計を表すものではない点に注意を要する。

3 調査結果および考察

CM枠数

表1

CM数	枠数	%	CM数	枠数	%	CM数	枠数	%
30	1	0.0	19	7	0.2	9	114	3.3
28	1	0.0	18	2	0.1	8	300	8.6
27	2	0.1	17	6	0.2	7	229	6.5
26	1	0.0	16	8	0.2	6	607	17.3
25	1	0.0	15	12	0.3	5	360	10.3
24	2	0.1	14	29	0.8	4	647	18.5
23	5	0.1	13	28	0.8	3	381	10.9
22	9	0.3	12	39	1.1	2	368	10.5
21	6	0.2	11	44	1.3	1	184	5.3
20	7	0.2	10	104	3.0	合計	3,504	100.0

表1はCM枠に占めるCM数の多い順に示したものである。この表は数量分析(1)でも示したが、データの入力ミスおよびCM枠の捉え方に関するデータ上の修正があり、その分、CM枠の総数、各CM数ごとのCM枠数がともに若干変動している⁽²⁾。これらの修正等は大势に影響なく、以前同様、CM数が6および4のCM枠が17~18%と多く、次いでCM数5, 3, 2のCM枠

が10%を少し越える程度で、全体的にはCM数2～8までのものが多くを占め、それらを合計すると全体の82.5%に及ぶことが分かる。

・曜日別

表2

曜日	CM 枠数	%	偏差	曜日	CM 枠数	%	偏差
月	497	14.2	-3.6	金	509	14.5	8.4
火	504	14.4	3.4	土	473	13.5	-27.6
水	509	14.5	8.4	日	508	14.5	7.4
木	504	14.4	3.4	合計	3,504	100.0	

表2は各曜日ごとのCM枠数とそのパーセンテージおよび平均値(500.6=3,504÷7)からの偏差を表したものである。CM枠数で見た場合、土曜日の落ち込みが目立ち、このことは、前回の秒数に関する分析の土曜日における合計秒数の落ち込みと呼応している。

・時間帯別

① 1時間単位

表3

何時台	CM 枠数	%	偏差	何時台	CM 枠数	%	偏差
6	205	5.9	10.3	15	210	6.0	15.3
7	204	5.8	9.3	16	198	5.7	3.3
8	132	3.8	-62.7	17	187	5.3	-7.7
9	197	5.6	2.3	18	250	7.1	55.3
10	176	5.0	-18.7	19	184	5.3	-10.7
11	232	6.6	37.3	20	198	5.7	3.3
12	190	5.4	-4.7	21	179	5.1	-15.7
13	225	6.4	30.3	22	183	5.2	-11.7
14	123	3.5	-71.7	23	231	6.6	36.3
				合計	3,504	100.0	

表3は1時間単位の時間帯におけるCM枠数とそのパーセンテージおよび平均値($194.7=3,504 \div 18$)からの偏差を表したものである。CM枠数が明らかに多いのが11, 13, 18, 23時台、逆に明らかに少ないのが8, 14時台であることが分かり、これも前回の合計秒数に見られる傾向と類似している。

②10分単位

表4

10分単位	CM 枠数	%	偏差
0分台	365	10.4	-219.0
10分台	499	14.2	-85.0
20分台	639	18.2	55.0
30分台	466	13.3	-118.0
40分台	572	16.3	-12.0
50分台	963	27.5	379.0
合計	3,504	100.0	

表4は10分単位の時間帯におけるCM枠数とそのパーセンテージおよび平均値($584=3,504 \div 6$)からの偏差を表したものである。CM枠数でも50分台が群を抜いて多く、次いで20分台となり、少ない方では0分台、30分台、10分台

の順になっていることが分かる。これらも合計秒数の傾向に呼応している。

CM枠の合計秒数

表5 A (度数降順)

合計秒数	度数	%	累積%	合計秒数	度数	%	累積%
90	1105	31.5	31.5	50	3	.1	98.8
60	683	19.5	51.0	140	3	.1	98.9
120	559	16.0	67.0	55	2	.1	99.0
30	288	8.2	75.2	65	2	.1	99.0
150	148	4.2	79.4	85	2	.1	99.1
105	119	3.4	82.8	115	2	.1	99.1
75	112	3.2	86.0	155	2	.1	99.2
135	84	2.4	88.4	160	2	.1	99.3
180	74	2.1	90.5	285	2	.1	99.3
45	58	1.7	92.2	345	2	.1	99.4
210	38	1.1	93.3	450	2	.1	99.4
165	25	.7	94.0	20	1	.0	99.5
15	24	.7	94.7	40	1	.0	99.5
195	16	.5	95.1	70	1	.0	99.5
240	16	.5	95.6	80	1	.0	99.5
360	14	.4	96.0	145	1	.0	99.6
95	12	.3	96.3	170	1	.0	99.6
225	12	.3	96.7	175	1	.0	99.6
125	8	.2	96.9	177	1	.0	99.7
110	7	.2	97.1	203	1	.0	99.7
300	7	.2	97.3	215	1	.0	99.7
185	6	.2	97.5	265	1	.0	99.7
420	6	.2	97.6	305	1	.0	99.8
100	5	.1	97.8	310	1	.0	99.8
130	5	.1	97.9	315	1	.0	99.8
190	5	.1	98.1	375	1	.0	99.9
325	5	.1	98.2	395	1	.0	99.9
255	4	.1	98.3	405	1	.0	99.9
270	4	.1	98.4	435	1	.0	99.9
330	4	.1	98.5	440	1	.0	100.0
390	4	.1	98.7	480	1	.0	100.0
35	3	.1	98.7				
合計	3,504	100.0					

表5 B (値降順)

合計秒数	度数	%	累積%	合計秒数	度数	%	累積%
480	1	.0	.0	170	1	.0	6.7
450	2	.1	.1	165	25	.7	7.4
440	1	.0	.1	160	2	.1	7.5
435	1	.0	.1	155	2	.1	7.6
420	6	.2	.3	150	148	4.2	11.8
405	1	.0	.3	145	1	.0	11.8
395	1	.0	.4	140	3	.1	11.9
390	4	.1	.5	135	84	2.4	14.3
375	1	.0	.5	130	5	.1	14.4
360	14	.4	.9	125	8	.2	14.7
345	2	.1	1.0	120	559	16.0	30.6
330	4	.1	1.1	115	2	.1	30.7
325	5	.1	1.2	110	7	.2	30.9
315	1	.0	1.3	105	119	3.4	34.3
310	1	.0	1.3	100	5	.1	34.4
305	1	.0	1.3	95	12	.3	34.8
300	7	.2	1.5	90	1,105	31.5	66.3
285	2	.1	1.6	85	2	.1	66.4
270	4	.1	1.7	80	1	.0	66.4
265	1	.0	1.7	75	112	3.2	69.6
255	4	.1	1.8	70	1	.0	69.6
240	16	.5	2.3	65	2	.1	69.7
225	12	.3	2.6	60	683	19.5	89.2
215	1	.0	2.7	55	2	.1	89.2
210	38	1.1	3.7	50	3	.1	89.3
203	1	.0	3.8	45	58	1.7	91.0
195	16	.5	4.2	40	1	.0	91.0
190	5	.1	4.4	35	3	.1	91.1
185	6	.2	4.5	30	288	8.2	99.3
180	74	2.1	6.6	20	1	.0	99.3
177	1	.0	6.7	15	24	.7	100.0
175	1	.0	6.7				
				合計	3,504	100.0	

表5 Aは各CM枠の合計秒数のうち、その頻度が多い順に並べたものである。これを見ると、90秒が飛び抜けて多く、全体の3割を占めていることが分かる。その次に多い60秒、120秒もそれぞれ15%以上を占め、これら上位3つで7割近くを占めている。

表5 BはCM枠の合計秒数が多い順に並べたものである。これを見ると、最も長いもので8分、最も短いもので15秒となっており、8分台が1枠、7

表6はCM枠の合計秒数が多かったものについて、それを構成しているCMの秒数を示したものである。判別しやすいよう、30秒のものには☆印を、30秒を超えるものには★印を付している。これらを見ても分かるように、合計秒数が長いからといって、必ずしも構成している個々のCMの秒数が長いわけではなく、ここでも15秒を基本とした細切れのCMが連続する傾向のあることが分かる。

・曜日別

表7

		week							
枠計分台		月	火	水	木	金	土	日	合計
8分台	度数	0	0	0	0	0	1	0	1
	期待度数	.1	.1	.1	.1	.1	.1	.1	1.0
	枠計分台の%	.0	.0	.0	.0	.0	100.0	.0	100.0
7分台	度数	1	1	1	1	1	2	3	10
	期待度数	1.4	1.4	1.5	1.4	1.5	1.3	1.4	10.0
	枠計分台の%	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	20.0	30.0	100.0
6分台	度数	2	6	4	3	3	1	2	21
	期待度数	3.0	3.0	3.1	3.0	3.1	2.8	3.0	21.0
	枠計分台の%	9.5	28.6	19.0	14.3	14.3	4.8	9.5	100.0
5分台	度数	5	2	2	3	3	5	1	21
	期待度数	3.0	3.0	3.1	3.0	3.1	2.8	3.0	21.0
	枠計分台の%	23.8	9.5	9.5	14.3	14.3	23.8	4.8	100.0
4分台	度数	4	4	3	3	1	6	6	27
	期待度数	3.8	3.9	3.9	3.9	3.9	3.6	3.9	27.0
	枠計分台の%	14.8	14.8	11.1	11.1	3.7	22.2	22.2	100.0
3分台	度数	20	25	24	21	19	21	23	153
	期待度数	21.7	22.0	22.2	22.0	22.2	20.7	22.2	153.0
	枠計分台の%	13.1	16.3	15.7	13.7	12.4	13.7	15.0	100.0
2分台	度数	131	115	107	121	122	123	121	840
	期待度数	119.1	120.8	122.0	120.8	122.0	113.4	121.8	840.0
	枠計分台の%	15.6	13.7	12.7	14.4	14.5	14.6	14.4	100.0
1分台	度数	281	300	312	306	305	266	281	2051
	期待度数	290.9	295.0	297.9	295.0	297.9	276.9	297.3	2,051.0
	枠計分台の%	13.7	14.6	15.2	14.9	14.9	13.0	13.7	100.0
1分未満	度数	53	51	56	46	55	48	71	380
	期待度数	53.9	54.7	55.2	54.7	55.2	51.3	55.1	380.0
	枠計分台の%	13.9	13.4	14.7	12.1	14.5	12.6	18.7	100.0
合計	度数	497	504	509	504	509	473	508	3,504
	期待度数	497.0	504.0	509.0	504.0	509.0	473.0	508.0	3,504.0
	枠計分台の%	14.2	14.4	14.5	14.4	14.5	13.5	14.5	100.0

表7 A

		week							合計
枠計分整		月	火	水	木	金	土	日	
4分以上	度数	12	13	10	10	8	15	12	80
	期待度数	11.3	11.5	11.6	11.5	11.6	10.8	11.6	80.0
	枠計分整の%	15.0	16.3	12.5	12.5	10.0	18.8	15.0	100.0
3分台	度数	20	25	24	21	19	21	23	153
	期待度数	21.7	22.0	22.2	22.0	22.2	20.7	22.2	153.0
	枠計分整の%	13.1	16.3	15.7	13.7	12.4	13.7	15.0	100.0
2分台	度数	131	115	107	121	122	123	121	840
	期待度数	119.1	120.8	122.0	120.8	122.0	113.4	121.8	840.0
	枠計分整の%	15.6	13.7	12.7	14.4	14.5	14.6	14.4	100.0
1分台	度数	281	300	312	306	305	266	281	2,051
	期待度数	290.9	295.0	297.9	295.0	297.9	276.9	297.3	2,051.0
	枠計分整の%	13.7	14.6	15.2	14.9	14.9	13.0	13.7	100.0
1分未満	度数	53	51	56	46	55	48	71	380
	期待度数	53.9	54.7	55.2	54.7	55.2	51.3	55.1	380.0
	枠計分整の%	13.9	13.4	14.7	12.1	14.5	12.6	18.7	100.0
合計	度数	497	504	509	504	509	473	508	3,504
	期待度数	497.0	504.0	509.0	504.0	509.0	473.0	508.0	3,504.0
	枠計分整の%	14.2	14.4	14.5	14.4	14.5	13.5	14.5	100.0

表7 B

		week							合計
枠秒計		月	火	水	木	金	土	日	
120	度数	93	76	73	82	84	74	77	559
	期待度数	79.3	80.4	81.2	80.4	81.2	75.5	81.0	559.0
	枠秒計の%	16.6	13.6	13.1	14.7	15.0	13.2	13.8	100.0
90	度数	140	163	182	171	162	139	148	1,105
	期待度数	156.7	158.9	160.5	158.9	160.5	149.2	160.2	1,105.0
	枠秒計の%	12.7	14.8	16.5	15.5	14.7	12.6	13.4	100.0
60	度数	99	100	84	92	100	103	105	683
	期待度数	96.9	98.2	99.2	98.2	99.2	92.2	99.0	683.0
	枠秒計の%	14.5	14.6	12.3	13.5	14.6	15.1	15.4	100.0
全体の合計値	度数	497	504	509	504	509	473	508	3,504
	期待度数	497.0	504.0	509.0	504.0	509.0	473.0	508.0	3,504.0
	枠秒計の%	14.2	14.4	14.5	14.4	14.5	13.5	14.5	100.0

表7はCM枠の合計秒数を分単位にまとめたものと曜日とをクロスさせたものである。CM枠数の多かった90秒、60秒、120秒が属する1分台と2分台の合計値は多いが、4分以上ではCM枠数が少ないため、表7Aのように4分以上をひとつにまとめてみた。

曜日ごとの傾向はあまり認めにくいですが、土曜日においては、2分以上のCM

枠が多く、2分未満のCM枠が少ない傾向が見られる。また、日曜日では1分未満のCM枠が多く、1分台のCM枠が少ない傾向も見られる。

表7BはCM枠数の多かった120秒, 90秒, 60秒のみを取り出したものである。これを見ると、CM枠数全体で見られた土曜日の枠数の相対的な少なさは、1分台のCM枠、その中でも特に、枠数のもっとも多かった90秒CMの枠数が少ないことに呼応していることが分かる。

・時間帯別

①1時間単位

表8

		何時台									
枠計分台		6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
8分台	度数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	期待度数	.1	.1	.0	.1	.1	.1	.1	.1	.0	.1
	枠計分台の%	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	100.0
7分台	度数	0	0	0	0	2	1	0	4	0	0
	期待度数	.6	.6	.4	.6	.5	.7	.5	.6	.4	.6
	枠計分台の%	.0	.0	.0	.0	20.0	10.0	.0	40.0	.0	.0
6分台	度数	0	0	0	5	1	4	0	1	1	2
	期待度数	1.2	1.2	.8	1.2	1.1	1.4	1.1	1.3	.7	1.3
	枠計分台の%	.0	.0	.0	23.8	4.8	19.0	.0	4.8	4.8	9.5
5分台	度数	0	0	0	0	0	1	1	2	0	2
	期待度数	1.2	1.2	.8	1.2	1.1	1.4	1.1	1.3	.7	1.3
	枠計分台の%	.0	.0	.0	.0	.0	4.8	4.8	9.5	.0	9.5
4分台	度数	0	0	0	0	0	1	4	8	0	1
	期待度数	1.6	1.6	1.0	1.5	1.4	1.8	1.5	1.7	.9	1.6
	枠計分台の%	.0	.0	.0	.0	.0	3.7	14.8	29.6	.0	3.7
3分台	度数	2	1	1	4	8	5	6	21	1	11
	期待度数	9.0	8.9	5.8	8.6	7.7	10.1	8.3	9.8	5.4	9.2
	枠計分台の%	1.3	.7	.7	2.6	5.2	3.3	3.9	13.7	.7	7.2
2分台	度数	18	25	42	74	49	44	85	52	28	49
	期待度数	49.1	48.9	31.6	47.2	42.2	55.6	45.5	53.9	29.5	50.3
	枠計分台の%	2.1	3.0	5.0	8.8	5.8	5.2	10.1	6.2	3.3	5.8
1分台	度数	156	153	69	97	95	147	80	122	85	136
	期待度数	120.0	119.4	77.3	115.3	103.0	135.8	111.2	131.7	72.0	122.9
	枠計分台の%	7.6	7.5	3.4	4.7	4.6	7.2	3.9	5.9	4.1	6.6
1分未満	度数	29	25	20	17	21	29	14	15	8	8
	期待度数	22.2	22.1	14.3	21.4	19.1	25.2	20.6	24.4	13.3	22.8
	枠計分台の%	7.6	6.6	5.3	4.5	5.5	7.6	3.7	3.9	2.1	2.1
合計	度数	205	204	132	197	176	232	190	225	123	210
	期待度数	205.0	204.0	132.0	197.0	176.0	232.0	190.0	225.0	123.0	210.0
	枠計分台の%	5.9	5.8	3.8	5.6	5.0	6.6	5.4	6.4	3.5	6.0

		何時台									
枠計分台		16	17	18	19	20	21	22	23	合計	
8分台	度数	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	期待度数	.1	.1	.1	.1	.1	.1	.1	.1	1.0	
	枠計分台の%	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	100.0	
7分台	度数	2	1	0	0	0	0	0	0	10	
	期待度数	.6	.5	.7	.5	.6	.5	.5	.7	10.0	
	枠計分台の%	20.0	10.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	100.0	
6分台	度数	6	1	0	0	0	0	0	0	21	
	期待度数	1.2	1.1	1.5	1.1	1.2	1.1	1.1	1.4	21.0	
	枠計分台の%	28.6	4.8	.0	.0	.0	.0	.0	.0	100.0	
5分台	度数	1	1	3	2	1	0	2	5	21	
	期待度数	1.2	1.1	1.5	1.1	1.2	1.1	1.1	1.4	21.0	
	枠計分台の%	4.8	4.8	14.3	9.5	4.8	.0	9.5	23.8	100.0	
4分台	度数	3	0	3	1	2	0	3	1	27	
	期待度数	1.5	1.4	1.9	1.4	1.5	1.4	1.4	1.8	27.0	
	枠計分台の%	11.1	.0	11.1	3.7	7.4	.0	11.1	3.7	100.0	
3分台	度数	9	12	23	5	6	18	11	9	153	
	期待度数	8.6	8.2	10.9	8.0	8.6	7.8	8.0	10.1	153.0	
	枠計分台の%	5.9	7.8	15.0	3.3	3.9	11.8	7.2	5.9	100.0	
2分台	度数	48	61	37	31	54	45	46	52	840	
	期待度数	47.5	44.8	59.9	44.1	47.5	42.9	43.9	55.4	840.0	
	枠計分台の%	5.7	7.3	4.4	3.7	6.4	5.4	5.5	6.2	100.0	
1分台	度数	107	96	145	130	106	87	96	144	2,051	
	期待度数	115.9	109.5	146.3	107.7	115.9	104.8	107.1	135.2	2,051.0	
	枠計分台の%	5.2	4.7	7.1	6.3	5.2	4.2	4.7	7.0	100.0	
1分未満	度数	22	15	39	15	29	29	25	20	380	
	期待度数	21.5	20.3	27.1	20.0	21.5	19.4	19.8	25.1	380.0	
	枠計分台の%	5.8	3.9	10.3	3.9	7.6	7.6	6.6	5.3	100.0	
合計	度数	198	187	250	184	198	179	183	231	3,504	
	期待度数	198.0	187.0	250.0	184.0	198.0	179.0	183.0	231.0	3,504.0	
	枠計分台の%	5.7	5.3	7.1	5.3	5.7	5.1	5.2	6.6	100.0	

表 8 A

		何時台									
枠計分整		6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
4分以上	度数	0	0	0	5	3	7	5	15	1	6
	期待度数	4.7	4.7	3.0	4.5	4.0	5.3	4.3	5.1	2.8	4.8
	枠計分整の%	.0	.0	.0	6.3	3.8	8.8	6.3	18.8	1.3	7.5
3分台	度数	2	1	1	4	8	5	6	21	1	11
	期待度数	9.0	8.9	5.8	8.6	7.7	10.1	8.3	9.8	5.4	9.2
	枠計分整の%	1.3	.7	.7	2.6	5.2	3.3	3.9	13.7	.7	7.2
2分台	度数	18	25	42	74	49	44	85	52	28	49
	期待度数	49.1	48.9	31.6	47.2	42.2	55.6	45.5	53.9	29.5	50.3
	枠計分整の%	2.1	3.0	5.0	8.8	5.8	5.2	10.1	6.2	3.3	5.8
1分台	度数	156	153	69	97	95	147	80	122	85	136
	期待度数	120.0	119.4	77.3	115.3	103.0	135.8	111.2	131.7	72.0	122.9

	枠計分整の%	7.6	7.5	3.4	4.7	4.6	7.2	3.9	5.9	4.1	6.6
1分未満	度数	29	25	20	17	21	29	14	15	8	8
	期待度数	22.2	22.1	14.3	21.4	19.1	25.2	20.6	24.4	13.3	22.8
	枠計分整の%	7.6	6.6	5.3	4.5	5.5	7.6	3.7	3.9	2.1	2.1
合計	度数	205	204	132	197	176	232	190	225	123	210
	期待度数	205.0	204.0	132.0	197.0	176.0	232.0	190.0	225.0	123.0	210.0
	枠計分整の%	5.9	5.8	3.8	5.6	5.0	6.6	5.4	6.4	3.5	6.0

		何時台									
枠計分整		16	17	18	19	20	21	22	23	合計	
4分以上	度数	12	3	6	3	3	0	5	6	80	
	期待度数	4.5	4.3	5.7	4.2	4.5	4.1	4.2	5.3	80.0	
	枠計分整の%	15.0	3.8	7.5	3.8	3.8	.0	6.3	7.5	100.0	
3分台	度数	9	12	23	5	6	18	11	9	153	
	期待度数	8.6	8.2	10.9	8.0	8.6	7.8	8.0	10.1	153.0	
	枠計分整の%	5.9	7.8	15.0	3.3	3.9	11.8	7.2	5.9	100.0	
2分台	度数	48	61	37	31	54	45	46	52	840	
	期待度数	47.5	44.8	59.9	44.1	47.5	42.9	43.9	55.4	840.0	
	枠計分整の%	5.7	7.3	4.4	3.7	6.4	5.4	5.5	6.2	100.0	
1分台	度数	107	96	145	130	106	87	96	144	2,051	
	期待度数	115.9	109.5	146.3	107.7	115.9	104.8	107.1	135.2	2,051.0	
	枠計分整の%	5.2	4.7	7.1	6.3	5.2	4.2	4.7	7.0	100.0	
1分未満	度数	22	15	39	15	29	29	25	20	380	
	期待度数	21.5	20.3	27.1	20.0	21.5	19.4	19.8	25.1	380.0	
	枠計分整の%	5.8	3.9	10.3	3.9	7.6	7.6	6.6	5.3	100.0	
合計	度数	198	187	250	184	198	179	183	231	3,504	
	期待度数	198.0	187.0	250.0	184.0	198.0	179.0	183.0	231.0	3,504.0	
	枠計分整の%	5.7	5.3	7.1	5.3	5.7	5.1	5.2	6.6	100.0	

表 8 B

		何時台									
枠計秒		6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
120	度数	7	14	35	60	34	28	63	39	18	23
	期待度数	32.7	32.5	21.1	31.4	28.1	37.0	30.3	35.9	19.6	33.5
	枠計秒の%	1.3	2.5	6.3	10.7	6.1	5.0	11.3	7.0	3.2	4.1
90	度数	89	96	37	46	34	72	44	56	50	79
	期待度数	64.6	64.3	41.6	62.1	55.5	73.2	59.9	71.0	38.8	66.2
	枠計秒の%	8.1	8.7	3.3	4.2	3.1	6.5	4.0	5.1	4.5	7.1
60	度数	28	40	26	42	47	51	31	58	14	35
	期待度数	40.0	39.8	25.7	38.4	34.3	45.2	37.0	43.9	24.0	40.9
	枠計秒の%	4.1	5.9	3.8	6.1	6.9	7.5	4.5	8.5	2.0	5.1
全体の合計値	度数	205	204	132	197	176	232	190	225	123	210
	期待度数	205.0	204.0	132.0	197.0	176.0	232.0	190.0	225.0	123.0	210.0
	枠計秒の%	5.9	6.8	3.8	5.6	5.0	6.6	5.4	6.4	3.5	6.0

		何時台									
枠計秒		16	17	18	19	20	21	22	23	合計	
120	度数	31	33	31	22	29	25	31	36	559	
	期待度数	31.6	29.8	39.9	29.4	31.6	28.6	29.2	36.9	559.0	

	枠秒計の%	5.5	5.9	5.5	3.9	5.2	4.5	5.5	6.4	100.0
90	度数	35	63	74	83	65	51	55	76	1,105
	期待度数	62.4	59.0	78.8	58.0	62.4	56.4	57.7	72.8	1,105.0
	枠秒計の%	3.2	5.7	6.7	7.5	5.9	4.6	5.0	6.9	100.0
60	度数	65	26	60	30	25	22	29	54	683
	期待度数	38.6	36.5	48.7	35.9	38.6	34.9	35.7	45.0	683.0
	枠秒計の%	9.5	3.8	8.8	4.4	3.7	3.2	4.2	7.9	100.0
全体の合計値	度数	198	187	250	184	198	179	183	231	3,504
	期待度数	198.0	187.0	250.0	184.0	198.0	179.0	183.0	231.0	3,504.0
	枠秒計の%	5.7	5.3	7.1	5.3	5.7	5.1	5.2	6.6	100.0

表8はCM枠の合計秒数を分単位にまとめたものと1時間単位の時間帯とをクロスさせたものである。表8Aでは表7Aと同様に、4分以上をまとめている。また、表8BはCM枠数の多かった120秒、90秒、60秒のみを取り出したものである。

CM枠数全体の時間帯ごとにおける傾向としては、CM枠の多い時間帯として11、13、15、18、23時台、少ない時間帯として8、14時台があげられ、これは数量分析(1)のCM本数で見た場合と同様の結果となっている。

表8Aならびに表8Bから分かるように、2分台から1分未満にかけての傾向や120秒、90秒、60秒の傾向が異なることから、CM枠数全体で見られる傾向はその多くがCM枠の各合計秒数が有する傾向によってある程度相殺された結果であることが分かる。

②10分単位

表9

枠計分台		10分単						合計
		0分台	10分台	20分台	30分台	40分台	50分台	
8分台	度数	0	0	1	0	0	0	1
	期待度数	.1	.1	.2	.1	.2	.3	1.0
	枠計分台の%	.0	.0	100.0	.0	.0	.0	100.0
7分台	度数	0	0	1	0	1	8	10
	期待度数	1.0	1.4	1.8	1.3	1.6	2.7	10.0
	枠計分台の%	.0	.0	10.0	.0	10.0	80.0	100.0
6分台	度数	0	4	4	1	1	11	21
	期待度数	2.2	3.0	3.8	2.8	3.4	5.8	21.0
	枠計分台の%	.0	19.0	19.0	4.8	4.8	52.4	100.0

5分台	度数	0	1	2	0	10	8	21
	期待度数	2.2	3.0	3.8	2.8	3.4	5.8	21.0
	枠計分台の%	.0	4.8	9.5	.0	47.6	38.1	100.0
4分台	度数	3	0	2	1	4	17	27
	期待度数	2.8	3.8	4.9	3.6	4.4	7.4	27.0
	枠計分台の%	11.1	.0	7.4	3.7	14.8	63.0	100.0
3分台	度数	5	6	39	1	13	89	153
	期待度数	15.9	21.8	27.9	20.3	25.0	42.0	153.0
	枠計分台の%	3.3	3.9	25.5	.7	8.5	58.2	100.0
2分台	度数	58	107	174	107	143	251	840
	期待度数	87.5	119.6	153.2	111.7	137.1	230.9	840.0
	枠計分台の%	6.9	12.7	20.7	12.7	17.0	29.9	100.0
1分台	度数	259	333	360	319	365	415	2,051
	期待度数	213.6	292.1	374.0	272.8	334.8	563.7	2,051.0
	枠計分台の%	12.6	16.2	17.6	15.6	17.8	20.2	100.0
1分未満	度数	40	48	56	37	35	164	380
	期待度数	39.6	54.1	69.3	50.5	62.0	104.4	380.0
	枠計分台の%	10.5	12.6	14.7	9.7	9.2	43.2	100.0
合計	度数	365	499	639	466	572	963	3,504
	期待度数	365.0	499.0	639.00	466.0	572.0	963.0	3,504.0
	枠計分台の%	10.4	14.2	18.2	13.3	16.3	27.5	100.0

表9 A

		10分単						
枠計分整		0分台	10分台	20分台	30分台	40分台	50分台	合計
4分以上	度数	3	5	10	2	16	44	80
	期待度数	8.3	11.4	14.6	10.6	13.1	22.0	80.0
	枠計分整の%	3.8	6.3	12.5	2.5	20.0	55.0	100.0
3分台	度数	5	6	39	1	13	89	153
	期待度数	15.9	21.8	27.9	20.3	25.0	42.0	153.0
	枠計分整の%	3.3	3.9	25.5	.7	8.5	58.2	100.0
2分台	度数	58	107	174	107	143	251	840
	期待度数	87.5	119.6	153.2	111.7	137.1	230.9	840.0
	枠計分整の%	6.9	12.7	20.7	12.7	17.0	29.9	100.0
1分台	度数	259	333	360	319	365	415	2,051
	期待度数	213.6	292.1	374.0	272.8	334.8	563.7	2,051.0
	枠計分整の%	12.6	16.2	17.6	15.6	17.8	20.2	100.0
1分未満	度数	40	48	56	37	35	164	380
	期待度数	39.6	54.1	69.3	50.5	62.0	104.4	380.0
	枠計分整の%	10.5	12.6	14.7	9.7	9.2	43.2	100.0
合計	度数	365	499	639	466	572	963	3,504
	期待度数	365.0	499.0	639.00	466.0	572.0	963.0	3,504.0
	枠計分整の%	10.4	14.2	18.2	13.3	16.3	27.5	100.0

表9 B

		10分単						
枠秒計		0分台	10分台	20分台	30分台	40分台	50分台	合計
120	度数	47	81	107	84	107	133	559
	期待度数	58.2	79.6	101.9	74.3	91.3	153.6	559.0
	枠秒計の%	8.4	14.5	19.1	15.0	19.1	23.8	100.0
90	度数	142	199	193	167	211	193	1,105
	期待度数	115.1	157.4	201.5	147.0	180.4	303.7	1,105.0
	枠秒計の%	12.9	18.0	17.5	15.1	19.1	17.5	100.0
60	度数	92	103	118	106	122	142	683
	期待度数	71.1	97.3	124.6	90.8	111.5	187.7	683.0
	枠秒計の%	13.5	15.1	17.3	15.5	17.9	20.8	100.0
全体の合計値	度数	365	499	639	466	572	963	3,504
	期待度数	365.0	499.0	639.0	466.0	572.0	963.0	3,504.0
	枠秒計の%	10.4	14.2	18.2	13.3	16.3	27.5	100.0

表9はCM枠の合計秒数を分単位にまとめたものと10分単位の時間帯とをクロスさせたものである。表9 Aを見ると、1分未満のCM枠は50分台に集中していることが分かり、同様の傾向が3分台以上にも見られることが分かる。2分台は全体の平均的な傾向を見せ、50分台、20分台、40分台で期待度数より大きい。これに対し1分台では全体的な傾向に反し50分台と20分台とで期待度数より小さい。これは、表9 Bで分かるように、1分台のCM枠の大多数を形成している90秒と60秒がこのような傾向を持っていることによる。

CM 枠の開始分

表10A (値昇順)

開始分	度数	%	有効%	累積%	開始分	度数	%	有効%	累積%
0	42	.2	1.2	1.2	30	49	.3	1.4	44.3
1	36	.2	1.0	2.2	31	32	.2	.9	45.2
2	32	.2	.9	3.1	32	45	.2	1.3	46.5
3	37	.2	1.1	4.2	33	43	.2	1.2	47.7
4	37	.2	1.1	5.3	34	38	.2	1.1	48.8
5	35	.2	1.0	6.2	35	34	.2	1.0	49.8
6	27	.1	.8	7.0	36	65	.3	1.9	51.6
7	44	.2	1.3	8.3	37	48	.2	1.4	53.0
8	43	.2	1.2	9.5	38	54	.3	1.5	54.5
9	32	.2	.9	10.4	39	58	.3	1.7	56.2
10	30	.2	.9	11.3	40	42	.2	1.2	57.4
11	50	.3	1.4	12.7	41	41	.2	1.2	58.6
12	50	.3	1.4	14.1	42	65	.3	1.9	60.4
13	61	.3	1.7	15.9	43	63	.3	1.8	62.2
14	46	.2	1.3	17.2	44	54	.3	1.5	63.8
15	42	.2	1.2	18.4	45	58	.3	1.7	65.4
16	61	.3	1.7	20.1	46	47	.2	1.3	66.8
17	39	.2	1.1	21.2	47	68	.4	1.9	68.7
18	63	.3	1.8	23.0	48	82	.4	2.3	71.0
19	57	.3	1.6	24.7	49	52	.3	1.5	72.5
20	75	.4	2.1	26.8	50	71	.4	2.0	74.5
21	69	.4	2.0	28.8	51	83	.4	2.4	76.9
22	59	.3	1.7	30.5	52	155	.8	4.4	81.3
23	63	.3	1.8	32.2	53	75	.4	2.1	83.5
24	48	.2	1.4	33.6	54	70	.4	2.0	85.5
25	45	.2	1.3	34.9	55	57	.3	1.6	87.1
26	73	.4	2.1	37.0	56	108	.6	3.1	90.2
27	77	.4	2.2	39.2	57	192	1.0	5.5	95.7
28	99	.5	2.8	42.0	58	117	.6	3.3	99.0
29	31	.2	.9	42.9	59	35	.2	1.0	100.0
					合計	3,504	18.2	100.0	
					欠損値	15,749	81.8		
					合計	19,253	100.0		

表10B (度数降順)

開始分	度数	%	有効%	累積%	開始分	度数	%	有効%	累積%
57	192	1.0	5.5	5.5	30	49	.3	1.4	70.0
52	155	.8	4.4	9.9	24	48	.2	1.4	71.4
58	117	.6	3.3	13.2	37	48	.2	1.4	72.7
56	108	.6	3.1	16.3	46	47	.2	1.3	74.1
28	99	.5	2.8	19.1	14	46	.2	1.3	75.4
51	83	.4	2.4	21.5	25	45	.2	1.3	76.7
48	82	.4	2.3	23.9	32	45	.2	1.3	78.0
27	77	.4	2.2	26.1	7	44	.2	1.3	79.2
20	75	.4	2.1	28.2	8	43	.2	1.2	80.5
53	75	.4	2.1	30.3	33	43	.2	1.2	81.7
26	73	.4	2.1	32.4	0	42	.2	1.2	82.9
50	71	.4	2.0	34.4	15	42	.2	1.2	84.1
54	70	.4	2.0	36.4	40	42	.2	1.2	85.3
21	69	.4	2.0	38.4	41	41	.2	1.2	86.4
47	68	.4	1.9	40.4	17	39	.2	1.1	87.6
36	65	.3	1.9	42.2	34	38	.2	1.1	88.6
42	65	.3	1.9	44.1	3	37	.2	1.1	89.7
18	63	.3	1.8	45.9	4	37	.2	1.1	90.8
23	63	.3	1.8	47.7	1	36	.2	1.0	91.8
43	63	.3	1.8	49.5	5	35	.2	1.0	92.8
13	61	.3	1.7	51.2	59	35	.2	1.0	93.8
16	61	.3	1.7	52.9	35	34	.2	1.0	94.7
22	59	.3	1.7	54.6	2	32	.2	.9	95.7
39	58	.3	1.7	56.3	9	32	.2	.9	96.6
45	58	.3	1.7	57.9	31	32	.2	.9	97.5
19	57	.3	1.6	59.6	29	31	.2	.9	98.4
55	57	.3	1.6	61.2	10	30	.2	.9	99.2
38	54	.3	1.5	62.7	6	27	.1	.8	100.0
44	54	.3	1.5	64.3	合計	3,504	18.2	100.0	
49	52	.3	1.5	65.8	欠損値	15,749	81.8		
11	50	.3	1.4	67.2	合計	19,253	100.0		
12	50	.3	1.4	68.6					

表10Aは開始分の若い順に並べたもの、表10Bは開始分の頻度が多い順に並べたものである。これらを見ると、開始分は50分台に集中しており、次いで20分台が多いことが分かるが、これは数量分析(1)のCM本数で見た傾向と同じ結果となっている。

・曜日別

表11

		week							
開始分10		月	火	水	木	金	土	日	合計
0分台	度数	52	51	54	48	55	51	54	365
	期待度数	51.8	52.5	53.0	52.5	53.0	49.3	52.9	365.0
	開始分10の%	14.2	14.0	14.8	13.2	15.1	14.0	14.8	100.0
10分台	度数	68	68	74	74	75	66	74	499
	期待度数	70.8	71.8	72.5	71.8	72.5	67.4	72.3	499.0
	開始分10の%	13.6	13.6	14.8	14.8	15.0	13.2	14.8	100.0
20分台	度数	87	89	93	80	81	107	102	639
	期待度数	90.6	91.9	92.8	91.9	92.8	86.3	92.6	639.0
	開始分10の%	13.6	13.9	14.6	12.5	12.7	16.7	16.0	100.0
30分台	度数	68	71	67	65	65	62	68	466
	期待度数	66.1	67.0	67.7	67.0	67.7	62.9	67.6	466.0
	開始分10の%	14.6	15.2	14.4	13.9	13.9	13.3	14.6	100.0
40分台	度数	79	86	83	91	89	64	80	572
	期待度数	81.1	82.3	83.1	82.3	83.1	77.2	82.9	572.0
	開始分10の%	13.8	15.0	14.5	15.9	15.6	11.2	14.0	100.0
50分台	度数	143	139	138	146	144	123	130	963
	期待度数	136.6	138.5	139.9	138.5	139.9	130.0	139.6	963.0
	開始分10の%	14.8	14.4	14.3	15.2	15.0	12.8	13.5	100.0
合計	度数	497	504	509	504	509	473	508	3,504
	期待度数	497.0	504.0	509.0	504.0	509.0	473.0	508.0	3,504.0
	開始分10の%	14.2	14.4	14.5	14.4	14.5	13.5	14.5	100.0

表11はCM枠の開始分を10分単位にまとめたものと曜日とをクロスさせたものである。CM枠数の多い50分台と20分台に注目してみると、50分台では週末の土曜日・日曜日に期待度数より少なく、ウィークデイには水曜日を除いて期待度数を上回っている。これに対し20分台では逆に、土曜日・日曜日で期待度数より多く、ウィークデイでは水曜日を除いて期待度数を下回っている。また40分台には50分台と似たような傾向が見られる。

・時間帯別（1時間単位）

表12

		何時台									
開始分10		6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
0分台	度数	21	19	15	20	17	28	23	25	16	16
	期待度数	21.4	21.3	13.8	20.5	18.3	24.2	19.8	23.4	12.8	21.9
	開始分10の%	5.8	5.2	4.1	5.5	4.7	7.7	6.3	6.8	4.4	4.4
10分台	度数	27	30	34	19	29	26	16	41	10	19
	期待度数	29.2	29.1	18.8	28.1	25.1	33.0	27.1	32.0	17.5	29.9
	開始分10の%	5.4	6.0	6.8	3.8	5.8	5.2	3.2	8.2	2.0	3.8
20分台	度数	47	43	52	33	40	53	31	34	19	25
	期待度数	37.4	37.2	24.1	35.9	32.1	42.3	34.6	41.0	22.4	38.3
	開始分10の%	7.4	6.7	8.1	5.2	6.3	8.3	4.9	5.3	3.0	3.9
30分台	度数	24	33	11	23	25	22	31	28	17	34
	期待度数	27.3	27.1	17.6	26.2	23.4	30.9	25.3	29.9	16.4	27.9
	開始分10の%	5.2	7.1	2.4	4.9	5.4	4.7	6.7	6.0	3.6	7.3
40分台	度数	46	27	7	35	25	46	35	35	22	56
	期待度数	33.5	33.3	21.5	32.2	28.7	37.9	31.0	36.7	20.1	34.3
	開始分10の%	8.0	4.7	1.2	6.1	4.4	8.0	6.1	6.1	3.8	9.8
50分台	度数	40	52	13	67	40	57	54	62	39	60
	期待度数	56.3	56.1	36.3	54.1	48.4	63.8	52.2	61.8	33.8	57.7
	開始分10の%	4.2	5.4	1.3	7.0	4.2	5.9	5.6	6.4	4.0	6.2
合計	度数	205	204	132	197	176	232	190	225	123	210
	期待度数	205.0	204.0	132.0	197.0	176.0	232.0	190.0	225.0	123.0	210.0
	開始分10の%	5.9	5.8	3.8	5.6	5.0	6.6	5.4	6.4	3.5	6.0

		何時台									
開始分10		16	17	18	19	20	21	22	23	合計	
0分台	度数	35	23	7	15	18	21	25	21	365	
	期待度数	20.6	19.5	26.0	19.2	20.6	18.6	19.1	24.1	365.0	
	開始分10の%	9.6	6.3	1.9	4.1	4.9	5.8	6.8	5.8	100.0	
10分台	度数	33	21	53	30	30	15	22	44	499	
	期待度数	28.2	26.6	35.6	26.2	28.2	25.5	26.1	32.9	499.0	
	開始分10の%	6.6	4.2	10.6	6.0	6.0	3.0	4.4	8.8	100.0	
20分台	度数	28	36	45	29	20	23	32	49	639	
	期待度数	36.1	34.1	45.6	33.6	36.1	32.6	33.4	42.1	639.0	
	開始分10の%	4.4	5.6	7.0	4.5	3.1	3.6	5.0	7.7	100.0	
30分台	度数	25	23	33	32	25	25	28	27	466	
	期待度数	26.3	24.9	33.2	24.5	26.3	23.8	24.3	30.7	466.0	
	開始分10の%	5.4	4.9	7.1	6.9	5.4	5.4	6.0	5.8	100.0	
40分台	度数	26	35	40	30	19	17	21	50	572	
	期待度数	32.3	30.5	40.8	30.0	32.3	29.2	29.9	37.7	572.0	
	開始分10の%	4.5	6.1	7.0	5.2	3.3	3.0	3.7	8.7	100.0	
50分台	度数	51	49	72	48	86	78	55	40	963	
	期待度数	54.4	51.4	68.7	50.6	54.4	49.2	50.3	63.5	963.0	
	開始分10の%	5.3	5.1	7.5	5.0	8.9	8.1	5.7	4.2	100.0	
合計	度数	198	187	250	184	198	179	183	231	3,504	
	期待度数	198.0	187.0	250.0	184.0	198.0	179.0	183.0	231.0	3,504.0	
	開始分10の%	5.7	5.3	7.1	5.3	5.7	5.1	5.2	6.6	100.0	

表12はCM枠の開始分を10分単位にまとめたものと1時間単位の時間帯とをクロスさせたものである。開始分全体の傾向はCM枠の合計秒数の時に見たのと同じであるが、ここでも50分台と20分台に注目してみると、実数と期待度数との比較で見た場合、ほぼ反対の傾向を示している。すなわち、50分台では9, 12, 13, 14, 15, 18, 20, 21, 22時台で期待度数を上回り、他の時間帯では下回るのに対し、20分台では6, 7, 8, 10, 11, 17, 23時台で上回り、他の時間帯では下回っている。他の時間帯については、部分的にこの50分台あるいは20分台と似た傾向を示しているにすぎない。したがって、CM枠の開始分全体で見た傾向についても、各開始分ごとの傾向によってある程度相殺された結果であることが分かる。

CM 枠秒計×秒数

表13 (合計秒数の分単位×秒数)

		秒								
枠計埋分		3	5	10	12	15	20	25	30	45
8分台	度数	0	0	0	0	28	0	0	2	0
	期待度数	.1	.1	.1	.1	25.4	.0	.0	3.8	.1
	枠計埋分の%	.0	.0	.0	.0	93.3	.0	.0	6.7	.0
7分台	度数	1	10	0	1	203	0	1	9	2
	期待度数	.5	1.0	.5	.5	203.9	.0	.0	30.5	1.0
	枠計埋分の%	.4	4.1	.0	.4	84.2	.0	.4	3.7	.8
6分台	度数	0	18	3	0	335	0	2	14	16
	期待度数	.8	1.8	.8	.9	349.4	.1	.1	52.3	1.7
	枠計埋分の%	.0	4.4	.7	.0	81.1	.0	.5	3.4	3.9
5分台	度数	1	3	6	1	369	0	0	9	8
	期待度数	.8	1.7	.8	.8	340.0	.1	.1	50.9	1.6
	枠計埋分の%	.2	.7	1.5	.2	91.8	.0	.0	2.2	2.0
4分台	度数	5	1	0	5	333	0	0	39	0
	期待度数	.8	1.7	.8	.8	329.1	.1	.1	49.2	1.6
	枠計埋分の%	1.3	.3	.0	1.3	85.6	.0	.0	10.0	.0
3分台	度数	4	9	7	4	1,605	0	0	136	7
	期待度数	3.6	7.7	3.5	3.7	1,509.9	.3	.3	225.9	7.2
	枠計埋分の%	.2	.5	.4	.2	89.9	.0	.0	7.6	.4
2分台	度数	16	15	9	17	5,398	1	0	653	25
	期待度数	12.6	26.8	12.3	12.9	5,250.5	1.0	1.0	785.7	25.1
	枠計埋分の%	.3	.2	.1	.3	87.0	.0	.0	10.5	.4
1分台	度数	12	20	10	12	7,444	2	0	1,466	17
	期待度数	18.4	39.2	17.9	18.9	7,691.7	1.4	1.4	1,151.0	36.8
	枠計埋分の%	.1	.2	.1	.1	81.9	.0	.0	16.1	.2
1分未満	度数	0	7	3	0	571	0	0	109	3
	期待度数	1.4	3.0	1.4	1.4	586.2	.1	.1	87.7	2.8
	枠計埋分の%	.0	1.0	.4	.0	82.4	.0	.0	15.7	.4
合計	度数	39	83	38	40	16,286	3	3	2,437	78
	期待度数	39.0	83.0	38.0	40.0	16,286.0	3.0	3.0	2,437.0	78.0
	枠計埋分の%	.2	.4	.2	.2	84.6	.0	.0	12.7	.4

		何時台							
枠計埋分		50	55	60	90	120	143	180	合計
8分台	度数	0	0	0	0	0	0	0	30
	期待度数	.0	.0	.2	.1	.0	.0	.0	30.0
	枠計埋分の%	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	100.0
7分台	度数	1	6	7	0	0	0	0	241
	期待度数	.0	.3	1.6	1.1	.0	.0	.0	241.0
	枠計埋分の%	.4	2.5	2.9	.0	.0	.0	.0	100.0
6分台	度数	0	12	13	0	0	0	0	413
	期待度数	.1	.4	2.8	1.9	.1	.0	.0	413.0
	枠計埋分の%	.0	2.9	3.1	.0	.0	.0	.0	100.0
5分台	度数	1	0	3	0	0	0	1	402
	期待度数	.1	.4	2.7	1.9	.1	.0	.0	402.0
	枠計埋分の%	.2	.0	.7	.0	.0	.0	.2	100.0
4分台	度数	0	2	1	0	3	0	0	389
	期待度数	.1	.4	2.6	1.8	.1	.0	.0	389.0
	枠計埋分の%	.0	.5	.3	.0	.8	.0	.0	100.0
3分台	度数	0	0	9	3	0	1	0	1,785
	期待度数	.3	1.9	12.0	8.3	.3	.1	.1	1,785.0
	枠計埋分の%	.0	.0	.5	.2	.0	.1	.0	100.0
2分台	度数	1	0	19	53	0	0	0	6,207
	期待度数	1.0	6.4	41.6	28.7	1.0	.3	.3	6,207.0
	枠計埋分の%	.0	.0	.3	.9	.0	.0	.0	100.0
1分台	度数	0	0	77	33	0	0	0	9,093
	期待度数	1.4	9.4	60.9	42.0	1.4	.5	.5	9,093.0
	枠計埋分の%	.0	.0	.8	.4	.0	.0	.0	100.0
1分未満	度数	0	0	0	0	0	0	0	693
	期待度数	.1	.7	4.6	3.2	.1	.0	.0	693.0
	枠計埋分の%	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	100.0
合計	度数	3	20	129	89	3	1	1	19,253
	期待度数	3.0	20.0	129.0	89.0	3.0	1.0	1.0	19,253.0
	枠計埋分の%	.0	.1	.7	.5	.0	.0	.0	100.0

表14 (各合計秒数×秒数)

合計秒数	秒								
	3	5	10	12	15	20	25	30	45
480	—	—	—	—	28	—	—	2	—
450	—	2	—	—	47	—	—	3	1
440	—	1	—	—	25	—	—	2	—
435	—	—	—	—	25	—	—	—	—
420	1	7	—	1	106	—	1	4	1
405	—	2	—	—	11	—	—	—	—
395	—	1	—	—	20	—	—	—	2
390	—	4	2	—	71	—	1	2	7
375	—	2	—	—	11	—	—	1	—
360	—	9	1	—	222	—	1	11	7
345	—	—	—	—	37	—	—	—	3
330	1	—	—	1	81	—	—	3	—
325	—	—	5	—	103	—	—	1	—
315	—	—	—	—	19	—	—	1	—
310	—	—	1	—	20	—	—	—	—
305	—	1	—	—	14	—	—	—	2
300	—	2	—	—	95	—	—	4	3
285	—	—	—	—	38	—	—	—	—
270	—	—	—	—	50	—	—	11	—
265	—	1	—	—	10	—	—	—	—
255	—	—	—	—	62	—	—	3	—
240	5	—	—	5	173	—	—	25	—
225	—	—	—	—	156	—	—	12	—
215	—	1	—	—	10	—	—	2	—
210	1	2	2	1	401	—	—	55	—
203	—	—	—	—	—	—	—	2	—
195	1	—	—	1	177	—	—	10	—
190	—	—	5	—	58	—	—	1	—
185	—	6	—	—	64	—	—	4	—
180	2	—	—	2	739	—	—	50	7
177	—	—	—	1	9	—	—	1	—
175	—	1	—	—	8	—	—	—	—
170	—	1	—	—	8	—	—	—	1
165	—	—	—	—	223	—	—	26	—
160	—	—	2	—	16	—	—	2	—
155	—	2	—	—	18	—	—	1	—
150	3	—	—	3	1,202	—	—	110	1
145	—	—	—	—	9	—	—	—	—
140	—	2	—	—	24	1	—	1	—
135	2	—	—	2	621	—	—	53	9
130	—	—	5	—	35	—	—	1	1
125	—	8	—	—	64	—	—	—	—
120	11	1	1	11	3,161	—	—	458	13
115	—	—	2	—	14	—	—	—	—
110	1	6	—	1	37	1	—	2	—
105	3	—	—	3	667	—	—	64	5
100	—	—	5	—	30	—	—	—	—
95	—	12	—	—	62	—	—	5	—
90	6	—	—	6	4,399	—	—	928	7
85	—	—	2	—	10	—	—	—	—
80	—	1	—	—	5	—	—	—	—
75	—	—	—	—	416	—	—	62	—
70	—	—	1	—	4	—	—	—	—
65	—	1	—	—	5	1	—	1	—
60	2	—	—	2	1,795	—	—	404	5
55	—	—	2	—	6	—	—	—	—
50	—	3	—	—	9	—	—	—	—
45	—	—	—	—	141	—	—	12	3
40	—	—	1	—	2	—	—	—	—
35	—	3	—	—	6	—	—	—	—
30	—	—	—	—	382	—	—	97	—
20	—	1	—	—	1	—	—	—	—
15	—	—	—	—	24	—	—	—	—
合計	39	83	38	40	16,286	3	3	2,437	78

50	55	60	90	120	143	180	合計
							30
1							54
							28
		1					26
	6	6					133
	2	2					17
							23
	1						88
	2	1					17
	7	10					268
							40
							86
1							109
							20
							21
							17
		3				1	109
							38
							61
	2						13
							65
		1		3			212
							168
							13
		3	1				466
					1		3
		1	1				191
							64
							74
		5	1				806
1							11
							10
							10
							249
							20
							21
		7	4				1,330
							10
							28
							687
							42
							72
		12	49				3,717
			1				16
		5					49
							747
							35
							79
		39	32				5,417
							12
							6
		5					483
							5
							8
		28					2,236
							8
							12
							156
							3
							9
							479
							2
							24
3	20	129	89	3	1	1	19,253

表13と表14ではCM 枠秒計と秒数をクロスさせることで、CM 枠の各合計秒数ごとに、それらがどのような秒数のCM から構成されているかについて、その一般的な傾向を見ることができる。CM 枠の合計秒数によってCM 秒数の構成比に多少の違いはあるものの、ほとんどの合計秒数でいずれも15秒CM が主たる構成秒数となっていることが分かる。

CM 枠の典型的なパターン

CM 枠の典型的なパターンを考えるにあたり、まず、全体的な傾向を把握することから始めた。その際、各CM 枠の合計秒数すべてにおいて傾向を把握することは難しいことから、ここでは最も数の多かった90秒、60秒、120秒についてのみ、クロス表から抜き出す形で、その傾向をつかむことにした。

表15

		枠秒計			全体の合計値
10分単		60	90	120	
0分台	度数	92	142	47	365
	期待度数	71.1	115.1	58.2	365.0
	10分単の%	25.2	38.9	12.9	100.0
10分台	度数	103	199	81	499
	期待度数	97.3	157.4	79.6	499.0
	10分単の%	20.6	39.9	16.2	100.0
20分台	度数	118	193	107	639
	期待度数	124.6	201.5	101.9	639.0
	10分単の%	18.5	30.2	16.7	100.0
30分台	度数	106	167	84	466
	期待度数	90.8	147.0	74.3	466.0
	10分単の%	22.7	35.8	18.0	100.0
40分台	度数	122	211	107	572
	期待度数	111.5	180.4	91.3	572.0
	10分単の%	21.3	36.9	18.7	100.0
50分台	度数	142	193	133	963
	期待度数	187.7	303.7	153.6	963.0
	10分単の%	14.7	20.0	13.8	100.0
合計	度数	683	1,105	559	3,504
	期待度数	683.0	1,105.0	559.0	3,504.0
	10分単の%	19.5	31.5	16.0	100.0

表16

何時台	10分単位	秒秒計			全体の 合計値	何時台	10分単位	秒秒計			全体の 合計値
		60	90	120				60	90	120	
6	0分台	4	11	—	21	15	0分台	6	8	—	16
	10分台	2	14	—	27		10分台	4	7	3	19
	20分台	5	18	4	47		20分台	2	11	1	25
	30分台	3	13	1	24		30分台	2	18	5	34
	40分台	8	20	1	46		40分台	13	15	7	56
	50分台	6	13	1	40		50分台	8	20	7	60
	合計	28	89	7	205		合計	35	79	23	210
7	0分台	2	17	—	19	16	0分台	7	5	7	35
	10分台	1	12	2	30		10分台	14	5	6	33
	20分台	16	14	1	43		20分台	6	14	3	28
	30分台	4	13	1	33		30分台	8	5	4	25
	40分台	9	15	2	27		40分台	15	5	1	26
	50分台	8	25	8	52		50分台	15	1	10	51
	合計	40	96	14	204		合計	65	35	31	198
8	0分台	1	4	4	15	17	0分台	8	4	7	23
	10分台	7	12	10	34		10分台	3	7	5	21
	20分台	8	8	21	52		20分台	4	10	9	36
	30分台	7	2	—	11		30分台	6	6	2	23
	40分台	1	6	—	7		40分台	3	14	8	35
	50分台	2	5	—	13		50分台	2	22	2	49
	合計	26	37	35	132		合計	26	63	33	187
9	0分台	5	10	2	20	18	0分台	5	2	—	7
	10分台	3	8	4	19		10分台	15	24	2	53
	20分台	12	3	13	33		20分台	11	15	3	45
	30分台	6	7	8	23		30分台	9	12	9	33
	40分台	7	9	15	35		40分台	11	14	11	40
	50分台	9	9	18	67		50分台	9	7	6	72
	合計	42	46	60	197		合計	60	74	31	250
10	0分台	4	3	5	17	19	0分台	3	7	1	15
	10分台	8	5	11	29		10分台	3	21	2	30
	20分台	6	9	10	40		20分台	3	13	4	29
	30分台	14	5	3	25		30分台	6	14	4	32
	40分台	7	6	2	25		40分台	4	16	3	30
	50分台	8	6	3	40		50分台	11	12	8	48
	合計	47	34	34	176		合計	30	83	22	184
11	0分台	14	8	1	28	20	0分台	3	8	4	18
	10分台	4	5	3	26		10分台	7	17	5	30
	20分台	13	9	4	53		20分台	3	11	3	20
	30分台	3	9	3	22		30分台	3	12	4	25
	40分台	15	16	4	46		40分台	2	12	3	19
	50分台	2	25	13	57		50分台	7	5	10	86
	合計	51	72	28	232		合計	25	65	29	198
12	0分台	1	17	2	23	21	0分台	2	8	3	21
	10分台	4	8	3	16		10分台	3	9	1	15
	20分台	2	7	10	31		20分台	3	7	3	23
	30分台	7	2	17	31		30分台	4	11	5	25
	40分台	1	7	20	35		40分台	1	7	6	17
	50分台	16	3	11	54		50分台	9	9	7	78
	合計	31	44	63	190		合計	22	51	25	179
13	0分台	6	6	6	25	22	0分台	10	6	4	25
	10分台	14	10	8	41		10分台	5	11	4	22
	20分台	8	8	4	34		20分台	4	11	6	32
	30分台	7	7	11	28		30分台	3	11	6	28
	40分台	3	19	9	35		40分台	5	5	3	21
	50分台	20	6	1	62		50分台	2	11	8	55
	合計	58	56	39	225		合計	29	55	31	183
14	0分台	5	7	—	16	23	0分台	6	11	1	21
	10分台	2	1	3	10		10分台	4	23	9	44
	20分台	2	15	1	19		20分台	10	10	7	49
	30分台	2	8	1	17		30分台	12	12	—	27
	40分台	1	12	4	22		40分台	16	13	8	50
	50分台	2	7	9	39		50分台	6	7	11	40
	合計	14	50	18	123		合計	54	76	36	231

表15は、CM 枠全体において毎時の10分単位における CM 枠の傾向を先の3つの秒数について見たものである。したがってこの表は、CM 枠全体のこれら3つの秒数枠に関する10分単位別の傾向を表しており、1時間の典型的なパターンを探す時の手がかりとなる。この表15の特徴は、90秒が最も多く、次いで60秒と120秒が同じ程度の数を示しており、10分単位では、50分台に最も多く、20分台、40分台と続いている点にある。

表16は、さらに1時間単位の時間帯別の変数を加えたもので、何時台の何10分台まで分けられている。この表は、1日の典型的なパターンを探す時の手がかりとなる。この表において60, 90, 120秒の間に見られる1時間ごとのCM 枠合計数の傾向、およびその1時間内における10分単位ごとのCM 枠全体の合計値の傾向に最も類似するものを、全504時間におよぶ実際のCM 枠パターンの中から、1時間単位の時間帯別に探し出し⁽³⁾、6時から24時までの典型的なCM 枠パターンを作り出したものが以下の表群である⁽⁴⁾。したがって、この18時間分のCM 枠パターンは基本的に放送局や曜日が1時間ごとにばらばらで実際のつながりを有しているわけではない⁽⁵⁾。

表17①（6時台）

枠秒計	開始分								合計
	9	13	23	36	42	48	54	57	
60						1	1		2
75		1							1
90	1		1	1	1			1	5
合計	1	1	1	1	1	1	1	1	8

表17②（7時台）

枠秒計	開始分								合計
	5	13	22	30	46	52	57	58	
30				2					2
60			1		1				2
90	1	1				1	1	1	5
合計	1	1	1	2	1	1	1	1	9

この18時間のうち、表15に見られる傾向に最も類似しているのは17時台のパターンで、CM 枠数も平均値からさほど隔たっていないことから、1時間の典型的なCM 枠パターンとして、これをあげることができるであろう。

これらの各時間帯別の典型的なパターンを持つものが特定できたところで、次に、CM とCM 以外の時間がどのように切り替わるかを見るために、これらのそれぞれの実際の経過時間を表に表すことにする。

表18A

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	
6時台																															
7時台																															
8時台																															
9時台																															
10時台																															
11時台																															
12時台																															
13時台																															
14時台																															
15時台																															
16時台																															
17時台																															
18時台																															
19時台																															
20時台																															
21時台																															
22時台																															
23時台																															
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	

表18B

	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	
6時台																															
7時台																															
8時台																															
9時台																															
10時台																															
11時台																															
12時台																															
13時台																															
14時台																															
15時台																															
16時台																															
17時台																															
18時台																															
19時台																															
20時台																															
21時台																															
22時台																															
23時台																															
	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	

両表とも横（行）に1時間単位の時間帯を、縦（列）に1分単位の時間軸を取り、CM 枠の時間を塗りつぶしたものである。表18Aは0分台から29分台まで、表18Bは30から59分台までを表している。1分単位はさらに細かく記せるよう10秒単位の目盛りを付けているが、該当するCM 枠の開始時刻および終了時刻が10秒に満たない場合は、半分の5秒以上に当たる場合に升目を埋めている。ただし、開始と終了がともに目盛りの半分（5秒）に当たる場合などを考慮し、開始時刻では5秒以上（5秒を含む）、終了時刻では5秒を超える（5秒を含まない）場合に埋めることにした。図表の制約上、数秒の誤差はあるものの、CM 枠とCM 以外の時間が切り替わる時間的な流れを把握するには十分であると考え⁶⁾。

表を見ると、各1時間においていかに頻繁にCM が挿入されているかが分かる。50分台にCM 枠が集中している状況もよく分かり、CM 枠の秒数も長い。12、13、16、18、19、20、21時台では、50分台の大半がCM であることが分かる。時間帯によってCM 枠の挿入のされ方やその長さもまちまちで、8時台の30分以降、15時台の10分～30分、20時台の2分～18分など、比較的長い時間CM が挿入されない場合も存在している。表17の選出方法に関して述べたように、これらは各時間帯ごとの全体的な傾向に最も近いものを4週間分の中からそれぞれ選び出したものであるため、ここに示したものは、特定のテレビ局の特定の曜日に関するものにすぎない。その時間帯の4週間分の平均あるいは全体的な傾向そのものを使うためには更なるデータ加工が必要であるため、今回はこのような形を取らざるを得なかったが、各時間帯で異なるCM 枠の存在の仕方やその動向について、ある程度描き出すことはできたと考えている。両表に見られる特徴で、CM とCM の間が1升（10秒）分のケースも目に付くが、このほとんどは番組の開始や終了を伝える5秒のブレイクで、すぐにまたCM 枠に入ることを示している。1升（10秒）より多く空いている場合は、番組の次回の予告や天気予報など時間的に短い情報が挿入されていることを示すが、15時台の40分以降や12時台の52分以降に見られるように、そのような短いブレイクが連続することで、CM への切り替わ

り感はいっそう激しいものとなろう。先の5秒のブレイクと連動する場合には、さらにその激しさを増すことになる。

以上、各時間帯のCM枠の典型的（あるいは全体平均的）なパターンを有すると見られるものをピックアップして見てきたが、先に述べたように、それらは放送局や曜日が1時間ごとにばらばらで実際のつながりを有しているわけではなく、実際には特に放送局によるパターンの違いが大きい。そこで最後に、放送局ごとのCM枠数の特徴について、大まかに押さえておくことにする。

放送局ごとのCM枠数

表19

放送局	CM 枠数	%	偏差
RKK	874	24.9	-2
KAB	869	24.8	-7
KKT	824	23.5	-52
TKU	937	26.7	61
合計	3,504	100.0	

表20

枠計分整		放送局				合計
		RKK	KAB	KKT	TKU	
4分以上	度数	23	20	14	23	80
	期待度数	20.0	19.8	18.8	21.4	80.0
	枠計分整%	28.8	25.0	17.5	28.8	100.0
3分台	度数	45	29	29	50	153
	期待度数	38.2	37.9	36.0	40.9	153.0
	枠計分整%	29.4	19.0	19.0	32.7	100.0
2分台	度数	182	231	228	199	840
	期待度数	209.5	208.3	197.5	224.6	840.0
	枠計分整%	21.7	27.5	27.1	23.7	100.0
1分台	度数	522	535	479	515	2,051
	期待度数	511.6	508.7	482.3	548.5	2,051.0
	枠計分整%	25.5	26.1	23.4	25.1	100.0
1分未満	度数	102	54	74	150	380
	期待度数	94.8	94.2	89.4	101.6	380.0
	枠計分整%	26.8	14.2	19.5	39.5	100.0
合計	度数	874	869	824	937	3,504
	期待度数	874.0	869.0	824.0	937.0	3,504.0
	枠計分整%	24.9	24.8	23.5	26.7	100.0

表19は放送局ごとのCM枠数とそのパーセンテージおよび平均値(876=3,504÷4)からの偏差を表したものである。CMの本数、CM秒数での傾向と同じく、TKUが最も多いことに変わりはないが、1局だけ900台と飛び抜けて多く、最も少ないKKTとはCM枠数で100以上もの開きがある。概して、CM枠数が多いということは、それだけ頻繁にCMとCMでない時とが切り替わることを意味する。CM枠内自体においても各CMが目まぐるしく入れ替わるが、CM枠数を見ることで、番組とCMの切り替わり度合いについて視野に入れることができることになる。CM枠内における各CMの入れ替わり具合については分析できる統計データを用意していないが、表6で見たような比較的長いCM枠においても、また全体的にも15秒CMが基本であることを考えると、目まぐるしさを左右するものはこの番組とCMとの切り替わり度合いに依存するのかもしれない。これについては、今後の内容分析においてCM秒数の長短とそれぞれのショット数などの関係を比較する必要があるだろう。

表20ではCM枠の合計秒数(分単位)と放送局とをクロスさせることで、放送局ごとの傾向を見ることができる。度数(実数)と期待度数との比較においてTKUでは3分台以上と1分未満のCM枠が多い傾向があり、逆にKKTでは2分台に多く3分台上と1分未満では少ない傾向が見られる。RKKはTKUと、またKABはKKTと類似した傾向を見せているが、TKUのように比較的長いCM枠と短いCM枠の両方に多く出る場合、短いCM枠が挿入されることから、あるいはこれらコマーシャルタイムの長さにおけるばらつきから、目まぐるしさを感じやすいかもしれない。

4 おわりに

今回、CM枠という変数を用いてCM枠の数量的な傾向とテレビ画面上で放送されるパターンを見てきた。我々はCMにあまりにも慣れてしまい、特別に意識化することなく過ごせるよう、一種、心理的には知覚の鈍化が働いているのかもしれない。しかし、今回のようにCM枠の実態を数値化して出

してみると、テレビというメディアを通して流れてくる商業的な情報がいかに多いかが分かる。特に表18A・Bに見られるように、図表化してみると、あらためてその多さに驚かされる。その多さは各CMやCM枠の単なる時間的な秒数だけでなく、CMの本数や、今回見てきたCM枠の頻度のいずれにおいてもである。これまでの数量分析ではCM枠内で各CMが連続する様を描き出すことができていないため、これらを組み合わせることで、大量の細切れの情報という実態についてもさらに詳しく分析できるであろう。また、これまではまだ数量分析に留まっているため、次の内容分析の中で個々のCMのショット数や音節数などを調べていくことで、この情報の洪水の度合いがさらに明らかになることであろう。

我々は情報化社会の中に生き、様々なメディアに接しながら生活している。そして、テレビというメディアからも多くの情報を得ている。しかしそれは、自分が必要とする情報ばかりではない。テレビCMに代表されるように、ほとんどが勝手に入ってくる不必要な情報である場合も多い。特にテレビは家庭のリビングの中心にその居場所を与えられ、人々が毎日を送る生活の現場に情報を否応なく送り込むことができるため、その影響は計り知れない。このような時代に生き、メディアとの能動的なつきあい方を模索していくためには、こういった現状を的確に把握することから始める必要がある。

5 今後の展望と課題

今回、CM枠の変数を設けたが、その動向を見るためにはデータの加工を様々に行う必要があった。その必要性に突き当たりながら、分析に用いるための様々な変数を作ってはそのデータ入力を行い、それから分析に取りかかるといった作業の繰り返しであった。こういった作業は数量分析(1)(2)の際と同様で、今なお、新たな操作変数の必要さえ感じる。例えば、現在CM枠が始まるの最初のCMのセルにのみCM枠の合計秒数をデータ入力しているが、CM枠内の合計秒数とそのCM枠を構成している各CMの秒数との関係を見るために、その各CMのセルすべてに合計秒数を入力するための変数

や、また、各 CM 枠を構成している CM の個数と CM 枠の合計秒数ならびに CM 秒数との関係を見るために、各 CM のセルすべてにその CM の個数を入力するための変数などが考えられる。これらについては後の分析に譲ることにするが、これまでの数量分析の際に生じた様々なデータ入力およびデータ加工上の工夫は、後に外国の CM との数量的な国際比較を行う上での技術的な蓄積となった。

今回の分析で数量分析をひと通り終え、次に CM の内容分析へと移って行くわけであるが、上述のような課題もあるため、データ加工も平行して行い、新たな数量分析とデータの精緻化に努めていく必要があるだろう。

注

- (1) CM 枠という言葉を使う場合、通常は CM が 2 つ以上連続することを想定しているが、連続せず 1 つしかない場合にも 1 枠としてカウントしている。しかし、表 1 に見られるように、このようなケースは全体的には少ない。
- (2) CM 枠の捉え方に関するデータ上の修正とは、主として番組の開始・終了を知らせる 5 秒程度の映像が CM 間に挟まっている場合に、CM 枠としては切れると判断すべきところを、数ヶ所において CM 枠が分けられていなかったことが判明したため、改めて CM 枠を分割したという内容である。その結果、その分 CM 枠数が増えることとなった。
- (3) 1 時間単位の時間帯別で選定するため、それぞれ実際には、28 個 (504 時間 ÷ 18 時間) のパターンの中から選び出すことを意味する。
- (4) 表 16 の 1 時間ごとの特徴は以下の通り。
 - 6 時台：90 秒が 60 秒の約 3 倍と多く、10 分単位の構成は 20, 40, 50 分台がほぼ同じ数。
 - 7 時台：90 秒が 60 秒の約 2 倍と多く、10 分単位の構成では 50 分台, 20 分台の順。
 - 8 時台：90 秒と 120 秒がほぼ同じ数で多く、10 分単位の構成は 20 分台が

最も多い。

9時台：120秒が最も多く60秒と90秒はほぼ同数。10分単位の構成は50分台に多い。

10時台：60秒が最も多く90秒と120秒はほぼ同数。50分台と20分台が多く、同数。

11時台：90秒，60秒，120秒の順に多く、10分単位では50分台，20分台，40分台の順。

12時台：120秒，90秒，60秒の順に多く、50分台の次は40，30，20分台がほぼ同じ数。

13時台：60秒と90秒がほぼ同じで多く、50分台の次は10分台に多い。

14時台：90秒が最も多く60秒と120秒はほぼ同数。50分台の次は40分台に多い。

15時台：90秒が60秒の約2倍と多く、50分台の次は40分台が多い。

16時台：60秒が最も多く90秒と120秒はほぼ同数。50分台の次は0，10分台が多い。

17時台：90秒が最も多く60秒と120秒はほぼ同数。50分台の次は20と40分台。

18時台：90秒と60秒が120秒の約2倍と多く、50分台の次は10分台に多い。

19時台：90秒が最も多く60秒と90秒は同程度。50分台の次は10，20，30，40分台がほぼ同数。

20時台：90秒が最も多く60秒と120秒はほぼ同数。50分台が群を抜いて多い。

21時台：90秒が最も多く60秒と120秒はほぼ同数。50分台が群を抜いて多い。

22時台：90秒が最も多く60秒と120秒はほぼ同数。50分台の次は20，30分台の順。

23時台：90秒，60秒，120秒の順に多く、10，20，40，50分台がほぼ同

数。

- (5) CM 枠のパターンは放送局ごとでも、また（ウィークデイには同じパターンが部分的に見られるものの）曜日によっても異なっており、選定したこの18時間分の放送局や曜日も以下のごとくかなりばらけた。

（番号は何時台であるかを表し、また曜日は略号で記している）

⑥ KKT 火, ⑦ TKU 月, ⑧ TKU 月, ⑨ KAB 金, ⑩ TKU 月, ⑪ RKK 金, ⑫ RKK 月, ⑬ KAB 水, ⑭ RKK 火, ⑮ KKT 水, ⑯ RKK 水, ⑰ RKK 火, ⑱ KAB 月, ⑲ RKK 木, ⑳ TKU 火, ㉑ RKK 金, ㉒ KKT 木, ㉓ KKT 火 このうち、下線を引いたものは、ウィークデイで同じパターンがいくつか見られることから、月曜日を採用している。

- (6) この秒数の計算はビデオデッキのカウンターにもとづくもので、各 CM および CM 枠の秒数については正確であるものの、CM の開始秒・終了秒の記載に関しては数秒程度の誤差が生じている。そのため、実際の放送時間の CM 開始・終了秒とぴったり重なるわけではない。59分台の最後に生じている空白のすべては、そうした誤差によるものであることが確認できた。本来ならば修正すべきであろうが、テレビ画面上に時報の出る時間帯でしか確認できず、その部分だけ修正しても、そのことによって CM データの全体に渡って CM 開始の分・秒の記載がズレてくるため、ここではそのままにしておいた。なお、2000年の4月頃からは番組によって0分丁度から始まらず、58分など番組開始を前の時間帯に数分早めるものが登場したため、そういった ケースでは CM 枠がその分前にズレる形となっているであろう。

参考文献

- 電通総研 編 2000, 『情報メディア白書2000年版』, 電通
土井文博 2000, 「熊本市におけるテレビ CM の実態調査 ー数量分析(1)ー」, 『社会関係研究』(Vol. 6, No. 1・2), pp31-53, 熊本学園大学社会関係学会

- 2001, 「熊本市におけるテレビCMの実態調査 —数量分析(2) —」, 『社会関係研究』(Vol. 7, No. 2), pp127-160, 熊本学園大学社会関係学会
- 稲田植輝 1998, 『最新 放送メディア入門』, 社会評論社
- 小林太三郎 監修 1996a, 『広告の基礎 I』, 日経広告研究所
1996b, 『広告の基礎 II』, 日経広告研究所
- NHK 放送文化研究所 編 1999, 『NHK データブック 世界の放送 1999』, 日本放送出版協会
- 村松泰子 1997, 「テレビCMのジェンダー分析」『メディア・リテラシーを学ぶ人のために』(鈴木みどり編1997)所収, 世界思想社
- 難波功士 2000, 『「広告」への社会学』, 世界思想社
- 眞田幸昌 編著 1998, 『よくわかる放送業界』, 日本実業出版社
- 清水公一 1998, 『広告の基本』, 日本経済新聞社
- 菅谷明子 2000, 『メディア・リテラシー』, 岩波書店
- 鈴木みどり 1992, 『テレビ・誰のためのメディアか』, 學藝書林
- 鈴木みどり 編 1997, 『メディア・リテラシーを学ぶ人のために』, 世界思想社
- ヴィットインターナショナル企画室 編 1999, 『放送にかかわる仕事』, ほるぷ出版
- 渡辺武達・山口功二 編 1999, 『メディア用語を学ぶ人のために』, 世界思想社
- 山下玲子 1998, 「テレビと広告」『現代広告学を学ぶ人のために』第10章, 世界思想社

(雑誌)

週刊『ザ・テレビジョン』No.19-No.23, 1998年, 角川書店

(参照ホームページ)

日本民間放送連盟 放送基準 (<http://www.nab.or.jp/htm/map/fsitemap.html>)

付記

本論文は「熊本学園大学学内科学研究費」の助成を受けて行った調査研究の成果の一部である。